

2021年5月21日

学校法人三幸学園
名古屋ウェディングアンドブライダル専門学校
校長 古淵 泰弘 殿

学校関係者評価委員会
委員長 大塚淳夫

学校関係者評価委員会実施報告

2020年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 大塚 淳夫 (有限会社ビバーチェ 代表取締役)
- ② 大橋 ユカリ (CANOW 代表取締役)
- ③ 水澤 順一 (飛鳥未来きずな高等学校 名古屋キャンパス長)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2021年5月20日 (会場 名古屋ウェディングアンドブライダル専門学校 101教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2020年度 学校法人 三幸学園 名古屋ウェディングアンドブライダル専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 山内 朝子

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 大塚淳夫

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ウェディング分野の学校として「最幸の結婚式を通じて、日本そして世界の家族を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ウェディング分野として「最幸の結婚式を創り上げることを通じて、新郎・新婦だけでなく、その家族、その人生も幸せにできるNo. 1のプランナー・コーディネーターとなる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

- ・主体性を育む教育
- ・精皆勤率の向上
- ・退学率の低減
- ・検定合格率の向上
- ・掃除、挨拶の徹底

退学率に関しては2019年度と比較して改善できた。2019年度の退学率は3.6%であったが、2020年度の退学率は3.2%であった。その要因としてコロナ禍であり、人間関係が希薄になったことが考えられるためであるが、逆を言えばコミュニケーションが苦手な生徒が増えたことに要因があると感じる。学校ではそのコミュニケーションについての強化を図りたい。精皆勤率については、コロナ禍であったため実施がされていない。

掃除・挨拶は月間目標として取り組み、教員・生徒ともに意識ができると行動につながり、成果が出ていたので、継続して取り組んでいきたい。また、検定合格率については教務チームが中心となり検定前の対策にもしっかりと取り組めたため合格率もアップし、特にサービス接遇検定については検定協会より優秀校として表彰を受けることができた。

② 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員(ブライダルヘアメイクアンドドレス科):インターンシップ生や卒業生を見ていると、当たり前のこと(挨拶や掃除等)をしっかり出来ていると感じる。これは学校の教育の成果だと思う。継続して指導いただきたい。

大橋委員(ウェディングプランナー科):ウェディング業界は少しの体調不良でも休めない業界でもあり、今のコロナ禍では逆に少しの体調不良で休みなさいと言われるため、毎日元気に働ける体調管理がとても大切になってくる。心身ともに体力が必要。また、今、プランナーに求められるものは、お客様それぞれに合った提案力

である。それは主体性がないと出来ないと思う。そのため専門学生の内に身に付けておかないと即戦力としては難しいため、主体性・体力はしっかりと身に付けていただきたい。

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

・学校の理念等が生徒にはスタートアッププログラムやホームルーム等で周知が出来ていると感じるが、保護者まで周知されていないように感じる。

② 今後の改善方策

・担任紹介等を保護者にも送付しているので、その中にも学校の理念等を紹介できるようにしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

・学校の理念等が保護者にまで周知がされていないように感じる。

水澤委員：保護者に送る送付物の中にも学校の理念等を入れてはどうか。

大橋委員：ウチの会社でも HP の影響力は大きく、HP を見て企業理念に共感して来社されるお客様も多いので、SNS でも発信するとよい。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

・学校運営に関わる策定は、総務・人材開発部・教育開発部が中心となり発信いただけるので、しっかりと整備がされ実施がなされているため、特に課題はない。

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員:特に問題はないと感じる

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・関連分野における教員の研修については、どのような内容を実施するとよいのか正解が分からない。何を研修すれば、生徒に還元ができるのか。

② 今後の改善方策

・それぞれの学科における特性を活かした研修を実施していきたい。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大橋委員(ウェディングプランナー科):違う分野から見たブライダル業界とは、という視点で研修を実施してはどうか。興味を持たなければ知ることができない部分で結婚式というものを、自分の専門分野ではない視点で知ることが有意義なのではないか。

大塚委員(ブライダルヘアメイクアンドドレス科):弊社は年に何回か技術的な研修(手合わせ)を行っている。技術職にはそれも必要だと思う。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

① 課題

・昨年はコロナ禍でも業界内に就職ができたが、引き続きコロナ禍で、ブライダル業界が厳しい中、しっかりと業界に就職をさせていくことが大切だと感じる。そのため、今の時代に必要とされる人材とは。

② 今後の改善方策

・三幸学園が今までも大切にしてきた、人としての育成を大切に教育をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員(ブライダルヘアメイクアンドドレス科):コロナ禍であろうが、無かろうが人としてのマナーや素直さが大切。特に技術職の場合、すぐにお客様に施術が出来るわけではないので、特に大切だと感じる。弊社にインターンシップで来ている生徒は挨拶がとても丁寧で「ありがとうございます」がきちんと伝えられる。技術よりもそういった部分が大きな強みであると考えます。

大橋委員(ウェディングプランナー科):結婚式場を選ぶ時、「また会いたい」と思って頂ける人財・愛される力・想像力がとても大切。就職試験でも同様に、「また会いたい」「また話を聞きたい」と思って頂ける人材かどうか。また、チームワークが円滑にいくように、今何をしたら喜んでもらえるかと自ら考えられる力が必要だと考える。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	2
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・卒業生に対しての支援が薄いので、現場で働いている人材は何を必要としているのか。

② 今後の改善方策

・企業訪問をした際にも、現場で卒業校に何を支援して欲しいのかヒアリングをしていく。

・今年度の卒業生支援については、卒業生のモチベーションがアップする内容を実施していく。（8月予定）

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員（ブライダルヘアメイクアンドドレス科）：卒業生に対して、技術的な部分や専門的なことは求めている。

大橋委員（ウェディングプランナー科）：技術的な支援よりも、精神的（気持ちの部分）な支援が必要なのではないか。モチベーションアップに繋がる機会や同じ悩みを共有できる場があれば良いのではないか。新人を受け入れる企業としては、その企業によってやり方が違うので、知識・技術の部分では必要ないと感じる。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

・教育環境はしっかり整備されているため、課題は特に無い。

② 今後の改善方策

・継続して適正な教育環境を整備していく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員:特に問題はないと感じる。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・教育環境はしっかり整備されているため、課題は特に無い。

② 今後の改善方策

・継続して適切な運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員:特に問題はないと感じる。

水澤委員:高校から見ても適性だと思う。今後も信頼できる募集を実施していただきたい。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・教育環境はしっかり整備されているため、課題は特に無い。

② 今後の改善方策

・継続して適切な運営をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員:特に問題はないと感じる。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2
地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	1

① 課題

・積極的な実施が出来ていないので、今後はイオン様と合同で地域清掃等実施をする予定。

② 今後の改善方策

・イオン様と実施をしていく。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

大塚委員:今後の活動を期待しています。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

評価委員の皆様からは、自己評価は概ね適正であると評価をいただいた。学校関係者評価委員の方から意見をいただくことにより、学校の健全な運営や改善につながるため、このような会だけではなく、引き続き都度、ご意見を頂きたい。そして地域や業界から求められる、必要とされる学校になるため、今後も課題を把握し学校運営をしていく必要がある。

学校関係者評価委員会コメント

自己評価は概ね適正であると思う。システムはしっかりと構築されているので、さらにより良い学校づくりのために、より浸透・活用をして運営をしていただきたい。